

題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

(一財)日本友愛協会

〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文ビル2階

TEL: 03-5684-3188

FAX: 03-5684-3186

E-mail: yuai@yuaiyoukai.com

http://yuaiyoukai.com

発行人：川手正一郎

編集人：

隔月1回 10日発行

年会費
2,000円

第六回通常理事会・第四回定時評議員会開催

平成二十三年事業報告・

二十三年計算書類承認決議

平成二十四年六月八日（金）友愛サロンにおいて、第六回通常理事会及び第四回定時評議員会が開催され、平成二十三年事業報告ならびに平成二十三年決算が協議された。理事会に於ける協議の後、鳩山邦夫理事長が評議員会に報告、両案とも原案どおり承認決議された。

理事会、評議員会それぞれに於いて事業報告に関しては、長田正太郎監事による業務監査報告が、計算書類に関しては、奥住壽監事より会計監査報告がなされた。

また、平成二十三年度が、公益目的支出計画実施初年度にあたることから、今回の理事会・評議員会では、内閣府に提出する「公益目的支出計画実施報告書」についても協議され、監事の承認のもと内容について可決・承認がなされた。なお、公益目的支出計画実施報告書の提出は、計画実施完了予定の平成三十六年まで毎年度毎に行われる。

（本文に理事会・評議員会の議事録（抜粋）を掲載。事業報告書・計算書類はホームページにて閲覧・印刷ができる）

平成二十四年度第六回通常
理事会 議事録

1 開催日時及び場所

（1）開催日時 平成二十四
年六月八日（金）午前一〇
時開会

（2）開催場所 友愛サロン
2 理事長挨拶

理事長鳩山邦夫

3 議長の選任 定款第45
条に基づき、鳩山邦夫理事

長が議長に就任した。

4 定足数の確認

出席理事（総数6定足数3）
出席者数6名

鳩山邦夫理事長／鳩山由紀
夫副理事長／川手正一郎常

務理事／奥田吉郎理事／武
田紀念男理事／木村正治

理事
監事（総数2） 出席者数
2名

奥住壽 監事／長田正太郎
計算書類・事業報告書の件
（定款第11条第1項）

議長は、定款第46条の定足
数を満たすことから本理事

会が成立することを宣言し
た。

5 会議の目的事項
【報告事項】（定款35条2項）

1 平成二十三年計算書
類・事業報告書に関する監

査報告
2 平成二十三年度公益目

的支出計画実施報告書に関
する監査報告

奥住監事より、平成二十三
年度計算書類・事業報告書

に関する監査報告、平成二
十三年度公益目的支出計画

実施報告書に関する監査報
告が行われた。

【協議事項】
第1号議案平成二十三年度

することを全会一致で承認
決議した。 以上
.....
平成二十四年度 第四回定時
評議員会 議事録

1 開催日時及び場所

（1）開催日時 平成二十四
年六月八日（金）午前十一
時開会

（2）開催場所 友愛サロン
2 評議員長挨拶

評議員長 井上和子
3 議長の選任 定款第25
条に基づき、井上和子評議

員長が議長に就任した。

4 定足数の確認
評議員（総数9定足数5）
出席者数7名

井上和子評議員長／萩原直
三評議員／芳賀大輔評議

員／福田八州雄評議員／近
藤純子評議員／小川巧次評

議員／大川米子評議員
出席理事 鳩山邦夫理事

長／鳩山由紀夫副理事長／
川手正一郎常務理事／奥田

吉郎理事／武田紀念男理
事／木村正治理事

出席監事 奥住壽監事／長
田正太郎監事

議長は、定款第26条の定足
数を満たすことから本評議

員会が成立することを宣言
した。

5 理事長挨拶
理事長 鳩山邦夫

6 会議の目的事項
【協議事項】

第1号議案 平成二十三年度
計算書類・事業報告書の件

（定款第11条第1項）
（1）事業報告書の承認

①事業報告書概要説明
理事長 鳩山邦夫

②事業報告書監査報告
監事 長田正太郎

・鳩山邦夫理事長による平
成二十三年事業報告書概

要についての説明後、長田
監事より同報告書に関する
監査報告が行われた。

要についての説明後、長田
監事より同報告書に関する
監査報告が行われた。

・協議の結果、同報告書を
全会一致で承認決議した。

（2）計算書類の承認
①計算書類概要説明 理事

長 鳩山邦夫 ②計算書
類監査報告 監事 奥住壽

・鳩山邦夫理事長による平
成二十三年計算書類概要に

ついての説明後、奥住監
事より同報告書に関する監

査報告が行われた。

・協議の結果、同報告書を
採用することを全会一致で

承認決議した。

第2号議案平成二十三年度
公益目的支出計画実施報告
書の件（定款第11条第1項）
①公益目的支出計画実施報
告書概要説明 理事長 鳩山
邦夫 ②公益目的支出計
画実施報告書監査報告 監
事奥住壽

日本友愛協会のホームページが、充実更
新されました。

新法人への移行以後一年が経過し、事業
も滞り無く実施することができました。

そうした状況を、限なくいち早くお伝え
できるよう、改訂いたしました。現時点ま

での情報を全て掲載、写真の解説、レイア
ウトにも工夫を凝らし、一層見やすいペー

ジになるよう整えました。

本年度の友愛ドイツ歌曲コンクルの応
募要項、会員登録のページ、「友愛」掲載

のニュース等最新情報が満載です。定款、
事業報告等の情報公開も整備しました。

『友愛』創刊号から最新号までの閲覧も
できます。是非一度日本友愛協会のホーム

ページにアクセスして、写真満載の内容を
お楽しみください。

＊ホームページに関してお気づきの点、
掲載記事の希望など、どしどし事務局まで、

ご意見・ご感想をお寄せください。

ホームページが充実
http://yuaiyoukai.com
是非一度アクセスを！



友愛時評

ユーロ危機こぼれ話（その二）
▼ギリシャにはロンドンのカ
レッジで一緒に英語を学んだ
親友がいる。知り合ったのが
二〇歳の時だから、かれこれ
四半世紀の付き合いで、ギリ
シャ訪問も一〇回をこえた。

ところが、彼の方はまだ日
本に來たことがない。まあ、
クラブのDJばかりやって定
職に就いていない彼にとっ
て、航空運賃も滞在費も高い
日本訪問を「生涯の夢」と言
うのは、むしろ当然かもしれ
ない。▼しかし、アテネに彼
を訪ねると、その暮らしぶり
は驚くほど優雅である。もと
もとイオニア海のある島の貴
族であった彼の家は、アテネ
の一等地にビルを持ち、独身
生活をおくるには十分なもの
を両親が遺してくれたようである。▼というわけで、彼の
周囲の人々は裕福な家が出が
多く、皆立派な職業に就いて
いる。そして、例外なく新民
主主義党（ND）支持者であ
った。二大政党制下での政敵
であった全ギリシャ社会主義
運動（PASOK）の人々と
はまるで付き合いがなく、P
ASOKは彼ら同士では罵り
言葉にすら使われる始末であ
る。人間関係の濃密な南欧文
化のギリシャでは、二大政党
制は社会の隅々にまで分極化
を強めてしまったのかもしれ
ない。▼六月十七日に行われ
たギリシャの再選挙では、旧
与党のNDが僅差で反緊縮派
を抑えて第一党となり、第三
党となったPASOKらと連
立政権を樹立した。ギリシャ
のユーロ離脱というシナリオ
はひとまず回避され全世界が
安堵したわけだが、かつての
不倶戴天の敵同士が「大連立」
を本心に維持できるのか、日
本の「大連立」以上に危うい。
（ヒゲ）

第一回 日口極東フォーラム出席

日口蜜月時代を目指して

日本友愛協会理事長 鳩山邦夫

はじめに

兄から引き継いだ日本・

ロシア協会の会長職は、最近の世界情勢、とりわけプーチン大統領の極東重視の姿勢もあり、極めて重要な仕事となってきた。ご承知の通り、ロシアという超大国は、ヨーロッパの国でもあり、アジアの国家でもある。今まで基本的に欧州向きの姿勢をとり続けてきたロシアではあるが、最近の欧州金融危機を見てもわかるように、ヨーロッパの限界がみえてきていることに加え、二十一世紀の世界経済の牽引車が日本、中国を含む東アジアであることが明らかに。ロシアは明確にアジア寄りのスタンスに切り替えつつある。その証左として、今年のAPEC（アジア太平洋経済協力会議）の首脳会議の開催国であるロシアは、そのサミット開催地を極東・沿海州のウラジオストクに決めたのである。

ボストーク戦略をとり始めたと言えよう。これは一大チャンスであり、日口協会として見逃す手はない。私たちは、やや大風呂敷を広げ過ぎたかと思ったが、ブレAPECの一大行事として、ウラジオストクにおける第一回日口極東フォーラムを企画したのである。

私自身は、ただ号令をかけるばかりであったが、日口協会のスタッフや関係者が本当によく頑張ってくれたおかげで、五月三日、四日の二日間にわたる日口極東フォーラムが実現した。幸い、今やロシアにも、ほんの数校しかない戦略的拠点大学となった極東連邦大学、それに沿海州口日友好協会がフォーラムの共催者になり、会場も極東連邦大学が貸してくれることになった。

スケジュールで埋め尽くされた五日間
私は五月一日から五日間をウラジオストクで過ごし、数多くのフォーラムの会議に出席し、要人たちと個別会談を行い、なおかつ視察にも精を出した。私自身、衆議院の委員長や閣僚として数多くの海外出張をこなしてきたが、これほど公式行事で、隙間なく埋めつくされたスケジュールは

ウラジオストクとは、ウラジ（征服）、ボストーク（東）、つまり東を征服せよとの意味であると、何かの本で読んだことがある。ロシアは軍事的な意味ではないが、明確にウラジ、

初めてだったように思う。

フォーラムは総会の下に八分科会を設けて、活発に意見発表や討論を行い、日本からも、それぞれの分野で日本を代表する専門家が何人も参加したので、ロシア側も相当の人材を送り込んできた。結果、フォーラムは大成功、かつ実りのあるものとなった。日本からのフォーラム代表団は軽く百名を超え、多ければいいというものではないものの、フォーラムが盛況を呈したことが成功の最大要因だったかと思う。

文化芸術から最新医療までの八分科会
ロシア国民の日本文化に対する興味は非常に大きいので、文化に関する分科会では日本板画院が「板画展」を、鬼才・大久保玄才氏が「きものデザイン展」を開き、私は両行事ともオープニングで挨拶をしたが、非常に盛況であった。（注：日本板画院は版画の文字は使わず板画と称している）

エネルギー部会は、ことのほか活況を呈し、熱のこもった議論が続いた。ロシアはエネルギーの超大国であり、東シベリアと極東の石油、天然ガスの開発に力が入り、それらはウラジオストク周辺にパイプラインで送られてきて集積し、

各国に売られていくことだろう。私は従来、サハリンの天然ガスを、海底パイプラインを使って北海道に上陸させ、津軽海峡も海底パイプラインを使って本州に継ぐ方式がベストだと主張し続けてきた。場合によっては日本海海底パイプラインを敷設してウラジオストクと日本を継ぐ可能性を探るべきかとも思っている。日本のエネルギー安全保障を考えると、ロシアは最も重要なパートナーなのである。エネルギー部会では、他の国々にも参加してもらい、定期的に極東エネルギーフォーラムを開くべしとの結論に達した。

医療部会では、チェルノブイリで小児がん治療に当たったロシアの医師たちと、日本の小児がんの権威である中川原医師らの間で活発な議論があり、放射能と小児がんの因果関係について研究発表が続いた。フクシマ問題を抱える日本としては、こうした議論の行方を、これからも注視し続けていくべきだと思う。

日口極東フォーラムは成功した。そして第二回目は現在整備中のAPEC首脳会議場のあるルースキー島で開催しようとロシア側から提案があった。どうやら日口極東フォーラムは定着

しそうな勢いである。最後に「ロシアとの関係
祖父・一郎が不自由な身体でありながら、まさに命がけで日ソ国交回復の為にモスクワへ赴いたとき、私は小学校の二年生であった。あの日ソ共同宣言には平和条約の締結と北方領土の部分的返還が盛り込まれていたが、当時の冷戦状況の下で、アメリカは日ソ間が、これ以上接近することを徹底して邪魔しようとした感がある。そのアメリカの戦略は今日まで続いていると見ることができよう。日口間には北方領土問題が引っかかっているの、両国の人的交流は、わずか十三万人にとどまり、経済関係も低水準で推移している。人

的交流は日台間で二百五十万人、日韓で五百五十万人、日中は六百万人に迫る数字である。これらと比較して、日口間の十三万人が、いかに小さな数字であるか理解できよう。

もし、北方領土問題が存在せず、平和条約が締結されていれば、日口間は経済的に強い相互補完性があるので、巨大な貿易量と徹底した人的技術的協力関係が生じ、今とは全く異なった世界経済地図、世界政治地図になっていただろう。逆に言えば、日口間経済交流が低水準にとどまっていることを、ほくそえんで見ているのが中国やアメリカ、あるいは韓国ではなからうか。そういう意味で、

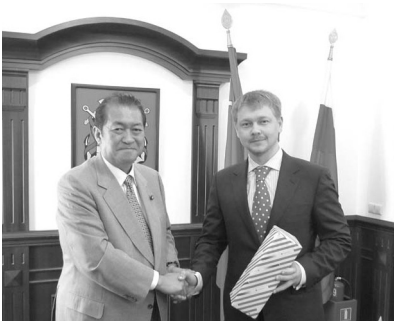
鳩山一郎訪ソ後のアメリカ戦略は、日本に大きな利益をもたらしたのである。あえて言うなら、北方領土問題を例えれば十年間という期限を区切って凍結し、十年後に交渉を再開することを相互に約束して、その十年の間、徹底した政治、安保、経済、技術、投資、教育などの交流をやってみたらどうか。十年間は蜜月関係を続けるのだ。世界各國は日口の蜜月時代に目を見張り、脅威を感じるから、日本の他国との外交交渉にも非常に有利な条件となるのだろう。

そんな風に日口間の未来を描きながら、私はウラジオから成田に戻った。
衆議院議員 鳩山邦夫

日口極東フォーラム開会式に出席。錚々たる顔ぶれが揃った



リトノヴィノフ ウラジオストク副市長と



板画（版画）展を見学。日本文化への関心は高い



日口極東フォーラム開会式で挨拶。成功裡に終了、次回に期待



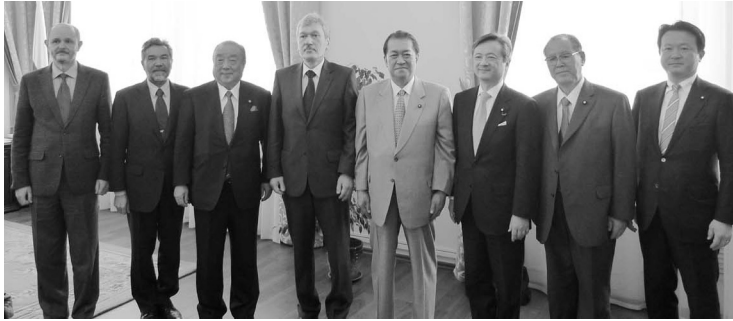
地方行政庁舎にて。関係各位と有意義な会談が行われた



日口極東フォーラムは注目を集め、多くのマスコミが取材に



ヴァトウーリン極東連邦大学学長代行（左から四人目）を交え日口友好議員連盟の方々と記念撮影



政治家としての友愛の実践

イラン訪問ー大きな決断

日本友愛協会副理事長 鳩山 由紀夫



相手を尊重し

対話で問題解決

私は今日までの政治家人生の中で、自民党離党や民主党結党、総理就任などいくつかの重要な決断をしました。このイラン訪問は、私にとって国益と世界平和に直結する、最も重大な決断でした。この決断は今でも正しかったと信じています。

政治家としての友愛の実践とは何でしょうか。そう思いながら、新しい公共、地域主権、東アジア共同体などを提案して参りました。しかし、世界で再び戦争が起りかねないイランの核開発疑惑問題に対して、日本の政治家としてただ単に手を拱いているばかりで良いのか、立場の異なる国同士であっても、相手を尊重し、戦争ではなく対話によって問題を解決する

のが友愛の精神であるべきと考えて行動することを決意したのです。

日本とイランの関係

日本はシルクロード

でお分かりのように、イランとは古く

ペルシャの時代から親交がありました。その関係は最近まで続き、日本は原油の一〇%以上をイランから輸入していました。そのお蔭で日本は高度経済成長を遂げることが出来たとも言えるでしょう。ところがイランに核開発疑惑が生じて以来、イランとの取引が困難となってきました。イランのアザダガン油田と言う、中東最大級の油田の七五%の権益を日本は持っていたのですが、アメリカがイランへの投資に強く反対したため、その権益を日本は全て放棄せざるを得ませんでした。日本にとっては誠に辛い判断でしたが、不思議なことに、アメリカは中国を制裁の対象としていないので、この権益は全て中国に取られてしまいました。さらにアメリカは昨年十二月に、国防授權法が可決して、イランとの取引

のある日本を含む海外の銀行に対して、アメリカでの銀行間の決済が禁止されることとなります。イランと取引するな、イランを経済的に締め上げて、核開発を断念させようという目的です。

間違った判断をしないために

対話と圧力と言うやり方は成果を上げることもあるとは思いますが、常に成功するとも限りません。現に、イラクでは失敗しました。「大量破壊兵器」を錦の御旗に戦争を起こしましたが、結局、イラクは大量破壊兵器を持つていませんでした。日本政府もその戦争に加担すると言う間違った判断をしてしまいました。このようなことが何度も許されてはなりません。

日本はより中立的な国として、中東の国々からはそれなりに信頼されています。とくに、イランとは歴史的に仲良く付き合ってきました。欧米の制裁圧力に對して、イランはホルムズ海峡を封鎖すると報復宣言をし、イスラエルはいつイランを攻撃しかねない状況になっていきます。日本は欧

違ったメッセージを与えかねないから、行ってはならない」と厳しく批判されました。「日米関係に悪影響を与える」とまで言われました。アメリカが戦争をしたいのなら話は別ですが、対話による解決を先方に説くことは、アメリカにとっても望ましいに違いないのに、とにかく、日本はアメリカの方針に従っていけばよい、勝手に行動するなど言うのがアメリカの本音なのでしょう。また、外務省はアメリカの意向を忖度して、事前に伝えれば邪魔をされるのが分かっています。私から、外務省には直前まで伝えませんでした。私のテヘラン訪問が公表された直後から、案の定、政府は私の外遊に批判的でした。批判を覚悟の上でのイランへの旅立ちでした。

イラン情勢に詳しい議員たち二名を伴い、四月七日成田を立ち、テヘラン空港に到着、その日のうちにサレーレ外相、ラリジャニ国会議長、翌日にアフマディネジャド大統領そして核問題担当のジャリリ書記と主要なイラン指導者と精力的に会談いたし、長居は無用と帰って参りました。

大統領との会談
アフマディネジャド大統領との会談の要旨は以下の通りです。

鳩山 率直にお話ししたい。日本は二度目の被曝を受けた。だからこそ、核兵器のない世界を実現する責務と、原発を有する国の責務を感じる。最高指導者ハ

メネイ師が核兵器を開発しないと宣言されていることは結構なことだが、大統領として政治的に担保してほしい。日本は核兵器を持たないと言ったが、国際社会の信頼を得たのは、NPT（核拡散防止条約）に積極的に協力した結果である。イランも日本と同様の信頼を得るために、IAEA（国際原子力機関）との協力、第三国との燃料スワップなど努力をして戴きたい。P5+1（国連安保理常国十ドイツ）との協議は柔軟な対応で信頼醸成を図ってほしい。

アフマディネジャド大統領

日本の被曝は日本人だけでなく、世界の人の心を痛めた。罪のない人を一人でも殺せば、全ての人を殺したに等しい。我々は核兵器に反対である。自発的にウランの濃縮を停止したり、医療活動のために一〇%の濃縮ウランが外から得られれば、濃縮を停止すると提案したり、信頼醸成のため様々な努力を行ってきたい。しかし、P5+1側は自らの要求を一方的に行うばかりで、我々の提案は受け入れられず、これでは信頼醸成は出来ない。P5+1では具体的な提案が望まれる。我々は信頼醸成に資するいかなる提案も歓迎するが、相手は解決の意思がなさそうである。

鳩山 P5+1の協議の場で少しづつでも具体的な提案をお互いにして、信頼醸成をしていくしかない。武力行動は何としても避けねばならない。NPTが核兵器保有国を対象にせず、

非保有国の平和利用に査察を行うのは公平ではないと承知している。また、NPTに入らないで核保有国になっている国に有利となっていることも承知している。しかし、日本は国際社会の疑念を払拭するためにNPTの仕組みに従い、IAEAに協力してきた。貴国も日本のようにIAEAに協力することが必要である。

アフマディネジャド大統領

イランと日本は核のない世界のために協力することが出来る。人間性に基づいた努力を通じて、我々が責任を持つている時代は無理かもしれないが、非核への努力が実を結ぶ時が来る。その仕事に取り組み始めることが重要である。日本には、濃縮施設やウランウム精製施設などあらゆる核施設を見てもらって良い。日本国民がイランは核兵器を持たないことを確信すれば、両国関係にとってプラスであろう。具体的な提案があれば、伝えて戴き協力したい。

イラン側の変化

私が全ての会談で申したことは、イランが国際社会の信頼を得るためには、多少不合理と思っても、日本のように徹底的にIAEAに協力して核開発疑惑を解消することしかなく、そのために、P5+1の協議で具体的な提案をしてほしいと言ったことでした。

私の話に大統領を始め指導者のみなさんは真剣に耳を傾けて下さいました。私の言葉がどこまで彼らの心に響いたかは分かりませんが、少なくともその後のイスタンブールとバグダッドの二度のP5+1の協議において、イラン側は前回までとは異なり、辛抱強く交渉に参加していましたし、いくつかの提案を行っていたようです。嬉しいことでした。残念ながら、まだ協議は妥結していませんが、両者が辛抱強く対話することによって解決の道を見出してほしいと強く願っています。

これはスタートライン
なお、私が大統領との会談でIAEA批判をしたような内容がイラン側から報道され、日本のメディアや野党が鬼の首を取ったかのようにそのことを流しましたが、翌日、イランの代理大使（大使は任命されていません）が謝罪に來られ、イラン側はその報道を削除いたしました。先のやり取りのように、私はNPTの仕組みに不合理なところはあるけれど、イランとしては日本が行ったようにIAEAに協力してほしいと述べたのであって、IAEAを批判はしていません。NPTの不合理性は、日本政府が批准の時に指摘したことであり、当然の主張だと思います。

私は日本政府がもっと積極的にイランの核開発疑惑問題に関わるべきであると思っています。少なくとも私は一度のイラン訪問で終わりと考えてはいません。むしろこれはスタートであり、今後とも関わって行きたいと思っています。

衆議院議員 鳩山由紀夫

友愛婦人会だより

平成24年度総会開催
人間塾 仲野好重塾長による記念講演
女性による女性だけの会、盛会裡に終了

平成二十四年五月二十八日（月）目白の椿山荘に於いて、友愛婦人会平成二十四年度総会を開催いたしました。今回は「女性による女性のための会」と銘打ち、講師、来賓全て女性と、華やかなことこの上ない会となりました。

平成二十三年度事業報告、決算報告がなされ、監査報告も済み、全会一致で承認可決されました。併せて平成二十四年度事業計画、予算も審議され、原案通り可決承認されました。



元氣溢れる口調で笑顔を絶やさずお話 仲野好重塾長

記念講演として、この度創設された「人間塾」より、仲野好重塾長をお招きし、ご講演いただきました。

講演に先立って、人間塾を創設された井上和子さんが、人間塾に懸ける思いをお話され、その情熱に、皆いたく感動いたしました。



構想数年、人間塾への熱い思いを語る井上和子さん

講演をお聞きして、人間は何歳になっても成長を遂げられる、今日より明日、明日より明後日という前向きな気持ちが生まれ、皆活き活きとした思いになりました。仲野塾長の声と元気に、全員が圧倒され、刺激されたようでございます。



指の先までが物語りを生む 井田幸子先生



友愛婦人会も益々勉強をと 大川米子幹事長

講演後、井田幸子先生を中心に、練習の成果フラダンスが披露され、定刻まで和やかなひとときを過ごしました。（友愛婦人会 記）

シルクロードをゆく（二）

玄奘三蔵とクマラジュウ

大洞龍明

『大唐西域記』に記される古代キジ国についての玄奘三蔵の記述において、筆者はひとつの疑問を抱いています。それは、古代キジ国が生んだ偉大なる人物に関することです。その人の名はクマラジュウ三蔵法師。

三四年にキジ国に生まれ、四〇一年に長安へ辿り着き、三百巻にのぼる仏教經典をインドのサンスクリット語や西域諸国の言葉から漢文に翻訳した偉大なるこの人について一言も触れていないことであります。クマラジュウは仏教な

らなく大乘仏教を初めて本格的に中国へ伝えた人です。『仏説阿弥陀經』や『妙法蓮華經』『般若經』『維摩經』など日本仏教が根本聖典としている諸經は全てクマラジュウが翻訳したものであります。『仏説

阿弥陀經』は浄土宗、真宗などの寺院では毎日かかさず読誦されていますし、日蓮宗がお題目として唱える「南無妙法蓮華經」はクマラジュウの名づけた経題がなければ存在しえなかったのです。禪宗で重用される「色即是空空即是色」の經文は、クマラジュウの翻訳むしろ創訳があつて、初めて『般若經』の真意が人々に伝わるようになりました。もちろん、中国仏教には大変な恩恵をもたらした人でもあります。

なぜ玄奘は、クマラジュウが生まれた古代キジ国に二ヶ月にも渡って滞在し、詳細な記述を残していないが、クマラジュウについて一言も触れなかったのでしょうか。

クマラジュウが、長安で没した四一三年を下ること二一六年の後、玄奘は『現在中国には本当の仏教はない。自らインドへ趣き、經典を持ち帰って漢訳して仏教の真意を中国に伝えた』

ウが生まれた古代キジ国に二ヶ月にも渡って滞在し、詳細な記述を残していないが、クマラジュウについて一言も触れなかったのでしょうか。

クマラジュウが、長安で没した四一三年を下ること二一六年の後、玄奘は『現在中国には本当の仏教はない。自らインドへ趣き、經典を持ち帰って漢訳して仏教の真意を中国に伝えた』

クマラジュウが、長安で没した四一三年を下ること二一六年の後、玄奘は『現在中国には本当の仏教はない。自らインドへ趣き、經典を持ち帰って漢訳して仏教の真意を中国に伝えた』



玄奘三蔵拓本。三蔵法師の偉業を証明する貴重な資料と言える（筆者提供）



キジル石窟王族の壁画（筆者提供）



キジ楽舞の踊り子（写真上）
ウイグルの美女（写真右）

筆者【大洞龍明 昭和12年岐阜市生れ。昭和43年光明寺住職に就任現在に至る。住職職務の傍ら宗派を超えた「東京国際仏教塾」を創立、塾長。設立し、敦厚莫高窟の修復を手がけ7窟の修復を完成させた。



王女ジータの年は二十才、彼女は賢く明敏で美しさは類いまれでした。一度見聞きたものは、そらん

「時事川柳研究会」会長 服部迪夫さんからお寄せ戴いた作品

時事川柳 服部迪夫 作

―風が難敵にスカイツリー―天気予報に首つたけ
―金星の太陽面通過105年待つてられないもどかしさ―
―当たり年―
混乱をよそに華やか天体ショー―
―天空ショー―
マンションに地球儀が良く似合います
―六連覇を許す―
大相撲モンゴルゴルフ韓国勢
―五輪の前に―
本番の前に走り出した新井岡が制す
端正なマスク二本目まぐべルト

編集後記

◆オープン前、東京スカイツリーに招待されて行ってみた。前日までは雨模様だったが、その日は午後から日本晴。エレベーターでアツという間に三五〇mの天望デッキへ。エレベーターの中は真っ暗だったが、ドアが開くと光輝く天空に駆け上がった感じ。眼下に国技館、西に浅草、そして白色がかった東京ドーム、新宿の高層ビル街。その先に霞んでいるのが富士。四五〇mの天望回廊に登ると三六〇度関東平野を一望できる。高いところから見下ろすと何となく優越感がくすぐられ、天下泰平の感あり。そんなところが魅力なのかと改めて考えさせられたひと時でもあった。（K）

◆中央青少年団体連絡協議会が先月末日を以て解散し、六十余年の歴史を閉じた。友愛は、同協議会設立当時から会員として中核的な役割を果たして来た。解散の理由は、会費収入の減少による財政難である。醸成してきた会員間の横の繋がりを残すために、解散後も規模を縮小して任意団体としての存続を目指す。私も責任ある立場を担えればと思っている。（GO）

◆オリンピックと聞くと、昭和39年10月10日のあの真っ青な空と、飛行機雲の五輪が目に浮かぶ。48年前とは思えない鮮やかさで、脳裏に刻まれている。時代背景もあつたのだろうが、国中が盛り上がった。ロンドンも64年振りの開催、さぞかし盛り上がっているだろう。参加国も二百を超える。平和の祭典が真の世界平和を築いて欲しい。（も）